

事務事業名		水田農業推進事業			会計	一般会計			
H27担当課等名		農業課		H27係等名	生産振興係		H26係等名	生産振興係	
基本計画上の位置づけ		政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり					
		施策	12	未来を見据えた地域産業の魅力、強み、人材の強化					
目的	対象(誰・何を)	販売農家			対象指標	指標名及び単位		26年度数値	
	意図(どうい状態にするか)	・米需要に応じた米の生産・水田を利用し国家戦略作物(大豆・そば)や園芸作物の栽培・売れる米づくりや公共施設給食利用等を目的に特別栽培米(こだわり米)の生産を行う				水稲作付け面積(ha) ※年度別作付け面積(報告数値)		468	
	向上させたい上位施策の成果指標	既存農業者の産出額(農業):億円				販売農家(交付金申請農家)		1592	
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	水稲作付設定面積における産地資金交付面積割合(%)			0.15		0.16	0.2	
	定性目標								
事業概要	<p>平成22年度から、国の制度変更に伴い、引き続き米価の安定を目的とした生産調整を行い、生産調整実施者に対しては、そのメリット対策である農業者戸別所得補償制度への加入を支援し、経営の安定化を図ると共に、水田のフル活用を目指した水田利活用自給率向上を推進するため、園芸作物ばかりでなく、大豆、そば、新規需要米といった国の戦略作物の普及・推進を図ってきた。平成26年度からは、国の農政改革に伴い、今後5年間に米政策が大きく転換するため、国の制度改革の内容を生産者に対して説明しながら、振興作物の生産を推進していく必要がある。</p>								
事業内容					名称		活動指標		
26年度事業内容	1 水田不作付地における作付改善計画書の確認 作付改善計画書提出者のみ				1 作付改善計画書の確認		1 15人		
	2 特別栽培米(こだわり米)の生産奨励 JAによる作付け指導会の開催				2 作付指導会の開催数		2 1回		
	3 国家戦略作物である大豆への転作推進に伴う消費啓発活動 大豆の需要を高めるための消費拡大				3 消費啓発活動の回数		3 7回		
	4 水稲生産作業の受委託の推進 水稲作業受託者意見交換会				4 意見交換会		4 1回		
	5 水田協議会への参画(南信州・飯田市)				5 水田農業推進協議会の開催数		5 10回		
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		200	500	500	500	(県)水田農業経営確立推進指導事業補助金(10/10)			
国庫支出金									
県支出金		200	500	500	500				
起債									
その他									
一般財源									
人件費計(千円)②		3,040		3,040					
正規職員所要時間		850		850					
臨時職員所要時間									
総事業費①+②		3,240	500	3,540	500				
事業内容・目標達成状況の振り返り	<p>水田をフル活用するため経営所得安定対策交付金を利用し促進を図ってきた。特に大豆栽培への転作に取り組んで来た。地元産大豆の安定的な需要を生み出すため、小学校での豆腐作り体験教室や大豆を使った料理教室を開催し、大豆が伝統的な食材であると同時に様々な料理に応用できることを参加者に周知することができた。</p>								
改革改善の考え方	①問題点	大豆の消費拡大を大豆の栽培拡大へつなげる取組が不十分である。							
	②改革提案	転作が比較的容易で補助対象作物である大豆等の栽培をさらに周知、推進する。また、農地集積の強化による不作付地の改善や後継者のいない農地を、人・農地プランに結び付けられるよう情報共有の仕組みづくりを行う。							